

けあとも

発行
ケアサービスとも
平成 29 年 7 月
第 37 号

人間としての生き方

牧野 義明

私達は「自分がどんな人間であるか」という自分についての存在の意味をその人なりに構築されている、と言われています。それは、自分と他者との関わりの中から導き出されて自分のものでして確立されていくものだからです。つまり、その人が過ごしてきた人生の過程でその人の周囲の人達(両親、兄弟、教師、友達、同僚)等によって自分が成長してくる過程で培われてきた事柄によって、確立しているものといえます。それは、他者との非言語的・言語的コミュニケーションを通して自分を周囲の状況に適した適応をしていく事の中で、自分なりに学び取りながら培われ成長し、自分の存在の意味へと導き出されています。ゆえに、しっかりとした肯定的な安定した自分の存在の意味を培われるためには、周囲の人々から尊

敬、愛情、支持、受容といった中で体験し獲得されたものが人間として成長していくために必要な事柄として体得していく事です。幼い時代の子供の時だけでなく、大人になってもこのことは、その人が真の人間として成長するまであり続けていくものです。自分が何者であり、どういう人間なのか、自分は何に価値を置いているのか等といった自己の存在意味は、見たり聞いたり判断したり理解したりする我々の日常の行動に、又他者とのコミュニケーションの在り方に大きな影響を与えています。

健康で歪んでいない満足できる対人関係を保ち、かつ持つためにはお互いが肯定的な自分の存在の意味を自分自身に語り掛け、見出し自分自身が確立されていることが求められます。人間本来の存在意味を見出し自分自身が安定し、相互理解が図られ嫌われることなく他者とのコミュニケーションに支障なくスムーズに行えるといった、人間としての相互理解が図られるようになると、自分の存在意味は対人コミュニケーションに影響を与え、かつ反対に対人コミュニケーションでの諸経験が自分の存在意味を創り出しているともいえます。どちらが先かは不明で決められませんが、この二つの関係は、循環過程として捉えられています。



人と人とのコミュニケーションは、言葉を用いて口先だけで行われる行為ではなく、その当事者の全人的な関わりであり、これらを通してお互いに自分の存在意味を見出し、成長をしていく相互関係のプロセスであるといえます。自分の存在意味は、個々によって見出され、かつ体得していくものであり、その人の人間性を生み出すものです。そして、その人の人間形成や生き方や考え方等に、より人間としての生き方に導いてくれるものです。



介福受験準備講習を受けて

(あおいの家) 豊田 浩規

合格できましたので、講座を会社で開催して頂き助かりました。

受験した第二十九回介福福祉士は、前年度に比べ受験人数が約半分に減りましたが、合格率は約五十八%から七十二%まで上昇しました。今回自分が合格出来、全体の合格率が上がった要因には、受験必須項目に追加された実務者研修が大きな要因となっているのではないかと思います。

筆記試験科目で多くの部分が実務者研修取得で必須項目であった為、大部

分を事前にある程度勉強しなければならなかった上に、会社で開催して頂いた対策講座で復習と残りの範囲を勉強出来たのが良かったと思います。

講座で頂いた演習プリントを使い自宅での学習も不足なく行うことが出来ました。

欲を言えば、「受験前までもう少し講義を伸ばして頂けたら」と思いました。

新人職員の声

～新人職員に聞きました



☆内藤 美香さん (ともの家)

昨年十二月に入社し、六月で半年が過ぎました。

私は介護についてももうすぐ八年になります。一つの場所にずっとおりましたが、時が経つにつれて、他はどんな感じだろうか?介護といっても、特養・老健・デイ・訪問・グループホーム等色々な種類があります。もつと他の所も知りたい。他ではどんなやり方でやっているんだろうか?そんな思いがつのり、行動に移し、そして、ともの家と出会いました。

ともの家では、訪問看護が主である



為か、看護師が多数おり、そして毎日看護師がともの家に来ます。それは、とても勉強になります。看護師がどんな処置をしているのか、見たり聞いたり・・・看護師しかできない医療行為を間近で見れる事を今、有難く思っており、色々吸収させて頂いています。又、ともの家の職員一人ひとりも、利用者様の事をよく考えていると感じています。

介護は、アセスメントがあり、計画し、実施し、評価し、見直すもの・・・これを利用者一人ひとりに対して行えているのではないのでしょうか。素晴らしいと思います。

今後も沢山吸収させて頂き、勉強していきたいと思っています。

シリーズ 福祉の理解 20



一方介護保険でも平成十七年に介護保険法が改正され、地域包括支援センターが新たに設置された。「地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うこと」で、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援していく」というものであった。そして高齢者が住み慣れた地域で、尊厳のある生活を継続していくことができるように要介護状態になっても、高齢者ニーズと状態の変化に応じ

て、必要なサービスを切れ目なく提供できるように包括的かつ継続的なサービス体制を目指した。またその一方では、地域密着型サービス拠点としてグループホーム、小規模デイサービス等を高齢者介護の中で位置づけた。

新人紹介



☆河内 聡美 調理員(給食センター)

(前号の訂正) 平成二十九年五月八日

☆岡崎 伸子 訪問看護事務員

平成二十九年五月十七日

☆福島 明子 訪問介護員

平成二十九年五月二十四日

休憩室

人間は、一茎の葦にすぎない。自然の内でも弱いものである。だがそれは考える葦である。(パスカル「パンセ」より)

編集後記

私事で申し訳ありませんが、八月に入院し手術を行うことになりました。従って八、九月の「けあとも」は、休刊とさせていただきます。ご了承下さるようお願いいたします。(総務・牧野)